

わが家の近所で突撃取材！

『ハナイソ』

(おもに園芸コーナー)

お彼岸3連休前の金曜＆卒業式シーズン
真っただ中にハナイソを一日体験。果たして私は役に立つ⁈ 本店とお向かい(園芸部門)では、時間の流れが違いました。

一年で一番忙しい日に花屋体験

玉川学園の行事関係を一手に背負っている生花店『ハナイソ』。社長が磯部さんだからハナイソ。そんなまちの象徴「ハナイソ」で働いてみたのは3月18日(金)のこと。

この日は近隣の中学校や幼稚園で卒業式が数多く開催され、花束の注文がわんさか。「これは○○先生へのサプライズだから、○○先生に気づかれないように」とか、「こつちは9時半まで。あつちは11時。向こうは午前中いっぱいだから配達の順番間違えないでね」など難度の高いやりとりが店内に飛び交い、さらに、翌日からはお彼岸の3連休。仏花の花束を作る量は半端なく、「店内はこんな戦場だったのか!」「お寺やお墓の無人販売花束は、ハナイソが作ってたのか!」など、おどろくことしきりでした。さあ、では私はなにを? と張り切って腕まくりをすると、「あ、あなたはあつち」と社長の奥さん。私としては戦場で戦う気満々だったのですが、やや梯子を外された気分に……いや、そんなことないです。私「あつち」でがんばります! と向かった先は、道路の反対側の園芸コーナー。先ほどの切り花部門に比べたら、のんびり。市場から届いた鉢に巻いてある透明フィルムを外したり、

花に水をやつたり、枯れたパンジーの葉を摘みながら、「春めいてきましたねえ」なんてお客様と話していると、しあわせな気分になつてきました。花に囲まれているのつて、精神衛生上、とてもいい

んでしあわせですね。お向かいの店内がものすごく忙しそうなので恐縮で、もギャリア15年)に言われ、救われた私でした。



DATA 町田市玉川学園2-6-9
☎042-725-9165 休み/正月3が日以外無休
営業/8:00~19:00

まちの名品、教えます

『あしたば』
福来純本みりん
(500ml 税込786円)

料理上手な友人に、「これは富澤でも売ってなくて、このへんだと、あしたばでしか買えないよ」と教えてもらったのが、岐阜の白扇酒造の三年熟成本みりん。この本みりんを使うと、たしかに肉じゃがも、豚のしうが焼きも、味がランクアップ! ぶりの照り焼きもテリッとしてます。小皿に少し取ってみると、色は透明ではなくキツネ色。ブランデーのような香りがして、ためしに飲んでみると、イケる! このまま飲んでいると確実に酔っぱらいそうです。HPによると、「3年熟成させた味醂は味にとげがなく、熟成ならではの穏やかな甘さ。濃厚で複雑な旨みが加わります」とのこと。料理の腕を手っ取り早く上げるには、この調味料を使うのがおすすめ。調味料の力は偉大ですね。1.8L 2635円もあり。

あしたば
町田市玉川学園2-1-32
☎042-729-5015
休み/なし
営業時間/10:00~20:00

「コリアンダー、一鉢100円なら、スーパーのハーブより安い」「エニシダってシダじゃないんだ」と、作業中、植物相手にひとりごと。



植段安めで長持ちする花が多いと評判のハナイソ。余分な花束がサービス品として店頭に出ることもあるので、要チェック。

このまちの、私の憧れの人

まちで出会ったすてきな人に話を聞きます。
3回目は、エリムラの溝口恭子(やすこ)さん。



エリムラに通い始めて、かれこれ20年ほどが経ちます。当時は、“エリムラのお嬢さん”と思っていた溝口恭子さんですが、じつは“エリムラの奥さん”だったのですね。20年前も今と同様に、髪を三つ編み1本結びにしていて(たしか)、可愛い人だなあと思っていました。とはいって、話をするとようになったのは、つい数年前。買い物ついでにつばめ通信のことなどを相談すると、いつも温かい応援アドバイスをくれて、買い物以上の元気をいただいている。聞けば、恭子さんのお母さまが画家だったことから、ご夫婦で画材店を営むことになったのだとか。私とあまり歳が変わらない息子さんもいるそうで、となると溝口さんいくつ? と、頭に?マークが浮かびます。直球で歳を聞いてみたところ、もう還暦を過ぎているのだとか~! びっくり。みなさんもエリムラでびっくりしてください。

エリムラ
町田市玉川学園2-11-1 ☎042-729-3140
休み/第3木曜 営業時間/10:00~20:00

やつてみた!
行つてみた!

今月おじやましたのは……

玉川学園の行事関係を一手に背負っている生花店『ハナイソ』。社長が磯部さんだからハナイソ。そんなまちの象徴「ハナイソ」で働いてみたのは3月18日(金)のこと。

昭和48年前後に生まれた女性ならお分かりでしょうか? 昭和50年代、フェルト作家・大高輝美さんの図案でマスクット人形を作るのが、小学生女子の間のブームでした。フェルトを切って、目鼻を刺繡して、ブランケットステッチで表と裏を縫い止めて、中に綿を入れれば完成。今見ると、かなりメルヘンチックなデザインですが、こうして作った、おにぎりやドラキュラやしし座(自分の星座のマスコットを作るのも流行

小3のときに大ブームだったのが、フェルトマスクット人形作り。大高輝美さんの本と材料を買うべく、「マツムラ」にいました。

の思い出
玉川学園
10

った)を、ランドセルにつけて登校するのが、おしゃれ小学生のステイタスだったのです。で、フェルトやビーズなどの材料を買いに行ったのは、玉川学園駅前の2階にある手芸用品店「マツムラ」。店内は布のロールがいっぱい、小さな試験管のような容器には、カラフルなビーズがたくさん。布だらけの店内は、音を吸収するのか、いつもシーンとしていて、歩く音だけが響いていました。手芸から遠ざかり、マツムラもなくなつてずいぶん経ちますが、今でもマツムラのシーンとした雰囲気と布のニオイをよく覚えています。

玉川つばめ通信協賛店・協賛者のお店(会社)を、勝手に宣伝コーナー

「ハナイソクラブ」を現在準備中

毎週月曜の夕方にハナイソに行くと、渡辺店長が市場から届いたばかりのおすすめの花を1輪、花瓶に挿してくれます。これが現在準備中の「ハナイソクラブ」(1ヶ月1000円予定)。「買うのは1本でもいいので、当店で花や緑を眺める機会を増やしていただければ」と渡辺さん。



©金子くるみ

カフェ コロラドのサラダドレッシングが美味しい

駅近くの「カフェ コロラド」ではメニューにミニサラダが付いてきますが、サラダの和風ドレッシングが大変美味。ドレッシングだけを買いに来るお客様もいるとか。レジ横にて販売中。1本500ml420円(ケンコーマヨネーズ、神戸サラダ壺番館シリーズ)。



あらい青果店のいちごが底値になりました

透明の袋にたっぷり詰まったあらい青果店のイチゴ。今までひと袋650円でしたが、3/28現在、旬をむかえて530円に値下げ。いちごジャムを作る方はこのタイミングをお見逃しなく。美味しいジャムができますよ。

